



徳善 懲惡 讀切講釋

拾ひし神の寸管尺麩抜罪もたてね鳥破り
 沖の石邊とて後の吉師の錦も執引くして
 人をちやゆい衣服を剝き再ひたつるか田が
 許すの拙言言も仇恋と因果の廻る画及女不
 生けておるれぬ覚昧者あゝ寐込さる旅労を
 つちめ小櫛の横刺しけらぬくか富ぐまひ刀
 未野曙の有り縁慎むべからん悪業の天罪
 早ね一夕話まふ懼ろふはらうりあり

花源堂誌

色情と押信の縄を切る不斬との与三良
 愛別離苦命すて渚わらふ捨小るの

斬り三郎

小徳善代
 徳善

言句二枚
 南丸